

KIITO:

「Assemble – 変容する『場』の可能性を考えるトークセッション」第6回特別編
ことばであそぶ、俳句でひらく 現代俳句ワークショップ開催

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりワークショップを開催いたします。

変容する
「場」
の可能性
を考える
トークセッショ



神戸市立三宮図書館 >< KIITO連携プログラム

6

アセンブル Assemble

「ことばであそぶ 現代俳句ワークショップ」

2026年3月1日(日)

①11:15~12:00 ②14:15~15:00

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）では、神戸市立三宮図書館との連携事業として、場のあり方や人の関わり方を多角的に探るシリーズ企画「Assemble – 変容する『場』の可能性を考えるトークセッション」を実施しています。

第6回は特別編として、現代俳句をテーマにした「ことばであそぶ 現代俳句ワークショップ」を開催します。

本ワークショップでは、こどもから大人までを対象に、「短いことばで世界を切り取る」俳句の実践を通して、年齢や経験を越えた対話や発見が生まれる場を目指します。

講師に、高校時代より俳句に親しみ、「俳句の芥川賞」といわれる角川俳句賞を史上最年少で受賞した俳人、岩田奎さんをお迎えし、俳句の基本や考え方を学ぶレクチャーから、制作、批評までを行います。

俳句という表現を通して、ことばと向き合い、日常の風景や感覚を新たに捉え直します。

【開催概要】

催事名：「Assemble – 変容する『場』の可能性を考えるトークセッション」第6回特別編

ことばであそぶ 現代俳句ワークショップ

日時：2026年3月1日(日) ①11:15~12:00 ②14:15~15:00 (各回45分)

場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）2階 プロジェクトスペース2B

講師：岩田奎（『群青』『オルガン』同人、関西現代俳句協会青年部）

定員：各回15名程度（事前申込制、先着順）※事前申込優先、空きがある場合は当日参加可

参加費：無料対象：こどもから大人まで ※未就学児は保護者同伴

申込み：ウェブサイト (<https://kiito.jp/>) からお申込みください

申込期間：2月3日(火) 15:00から KIITO ウェブサイトにて申し込み

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸

【講師プロフィール】



岩田奎

俳人。1999年、京都市生まれ。俳句同人誌『群青』『オルガン』同人。2015年、開成高校在学中に俳句をはじめる。句集『膚』(ふらんす堂, 2022)にて、第14回田中裕明賞・第47回俳人協会新人賞を受賞。ほか著書に『田中裕明の百句』(同, 2024)、受賞に石田波郷新人賞・俳人協会新銳評論賞・角川俳句賞・東京大学総長賞など。現在、豊岡市と大阪市に在住、神戸を拠点とするパフォーマンスコレクティブ「やる」に所属。

【Assemble アセンブル ー変容する「場」の可能性を考えるトークセッションについて】

誰もが活用できる開かれた公共空間としての「場」の在り方や可能性を考えるトークシリーズ。わたしたちを取り巻く価値観の多様化、一人ひとりのライフスタイルの変化など、複雑化する社会において、図書館・文化施設の役割や機能も変化を求められています。多様な生き方、多様な人々。誰もが活用できる図書館とはどのようなものなのでしょうか。KIITOに移転する図書館を事例として、ゲストと共に議論を交えながら、図書館・文化施設などの公共空間の持つ意味や価値、「出会いの場」「交流の場」を創出する意義、創造的な「場」としての役割について考えます。



写真左より、第1回「豊かな出会いを生む、図書館のかたち」、第3回 「いしいしんじのその場小説と蓄音機音楽会」、第2回「地域のつながりと、生活を豊かにする場としての図書館」